

## 第2回 ぐんまの中小企業と若者の交流会 Report

☆ 7月28日(木) 14:00~16:00 ジョブカフェぐんま 東毛サテライト  
☆ 参加企業 株式会社ケアコスモス 3人 若者参加者 12人

### 交流会の流れ

参加者それぞれが自己紹介の後、まずケアコスモスの大谷さん（介護支援員）、荒川さん（介護支援専門員）、蓮沼さん（取締役・介護事業部長）からメッセージをいただき、その後、全員で意見交換会を行った。最後に、企業側の3人の方々と、直接・個別に意見交換を行うフリータイムを設けた。

### 企業側からのメッセージ

#### <大谷さん>

部品メーカーの営業職として勤務していた前職の経験を語った後、ジョブカフェの採用直結型インターンシップ（就業体験）に参加したことがきっかけで、現在の介護職に就いた経緯を説明。「介護職は、挑戦する気持ちがあれば、誰にでもできる仕事。相手を変えるのではなく、自分が相手に合わせることで対人関係を成立させている。」と発言

#### <荒川さん>

ケアコスモスが運営している事業の全体について説明した後、「職員研修の充実とともに、職場管理者として、職員一人ひとりに定期的に聞き取りを行っている（職場の不満や気付いた点等）。新人に関しては3日、1週間、1ヶ月ごとに話を聞き、問題解決を図っている。」と発言

#### <蓮沼さん>

「介護業界に興味がなくても、しごと体験したうえで、応募の判断をしてもらえたら良い。そのため当社は、試しにという気持ちでのボランティア体験を受け入れている。」と説明。また、若者に伝えたいこととして「先輩や上司から言われたことは実践してみるという姿勢が重要。現時点では理解できなくても、試しに実践してみることで後々気付かされるが多々あるので」と発言

### 意見交換会

- ・介護職に就く場合、資格が必要か、また、取得した資格によって業務が変わるかについての意見交換
  - 企業側は、資格取得（ヘルパー2級から）は、就職後でもOK。資格、経験も大切だが、最終的には人間性を重視と発言。また、取得資格によって業務は基本的には変わらないが、職場内の地位（リーダー等）が変わることはあると説明
- ・各施設の人員配置の決定方法と勤務実態（特に、夜勤）についての意見交換
  - 企業側は、各施設への配置は本人の希望、会社の状況によって決定され、正社員に関しては異動がある。夜勤は入居型施設の場合にあり、頻度は、平均月4~6回と説明

- 職員の定着状況についての意見交換
  - 企業側から業界全体としては良くないが、転職希望者の多くが同業界を選択。自分の経験を他社施設で中心スタッフとして生かしたいという点と、より処遇が良い企業に勤めたいという理由があると思われると発言
- ケアコスモスの売り、モットーについての意見交換
  - 企業側は、自分が将来入所したい、身内を入所させたいと思うような介護を徹底していると強調

### アンケートから見た若者の反応

- 総じて交流会内容に満足した様子が窺える（一部参加者からは、進行役のさばきが強引過ぎるとの指摘があった）。
- 福祉現場というものに抱いていたイメージが払拭されたという感想とともに、企業の取組姿勢や企業側参加者の人柄に強く共感している様子が窺える。
- 企業で働くことの厳しさ、やりがいについて再認識するとともに、今後の求職活動に生かしていきたいという意欲が深まったことが窺える。

### 企業側の反応

- 良い悪いは別として、参加者の傾向（話を聞く姿勢、性格等）が似ていると感じた。
- フリータイム時には、質問も多く、企業側としても若者と会話ができる良い機会となった。
- プレゼンについては、当社として不慣れな部分もあったが大変勉強になった。若いスタッフにとっても貴重な体験だったと思う。プレゼンの内容構成や時間管理の重要性も改めて認識でき、今後に生かしていきたいと考えている。
- 交流会の内容にも満足しており、当社にとっても、大変、意義があったと感じられる企画であった。

### コーディネーターの所感

- 今回の交流会で目指したことは、今後も確実に雇用の増大が予想される福祉部門（特に介護施設）の状況を、参加する若者に知って欲しかったということと、企業側には、これからの求人活動の中で、今、若者が抱えている思いを少しでも反映させて欲しいということであった。
- 概ね、上記のねらいは実現できたと思っている。それは企業側が、求人に当たって資格要件を求めず、幅広く門戸を開放し、若者側の福祉現場に対する不安感を払拭しようという姿勢にあると感じた。
- 反省点は、福祉職場でよく言われる求人サイドと求職サイドのミスマッチの要因（定着率のところの一部話題になったが）に、十分踏み込めなかったという点である。
- 最後に、「自分は経験も浅いが、今は入居者が何度同じ話をしてきても嫌な顔をせず根気よく聞いてあげることが心にかけている。」と語った大谷さんの発言が、正に現在、福祉職場で求められている職員の原点なのではないかと感じている。

## <会社プロフィール>

株式会社ケアコスモス 入居型、通所型併せ県内に6施設を備え、介護に関する全ての事業を実施する会社として安定した経営を行う。社員の処遇を大切に考え、利益追求のみに走らず将来有望な企業

## 第2回 くんまの中小企業と若者の交流会の様子



大谷さんからのメッセージ



荒川さんからのメッセージ



蓮沼さんからのメッセージ



意見交換会